

2015年1月9日

東京都千代田区丸の内2-3-2
郵船ビル2F
エバーグリーン株式会社
代表取締役社長 加藤栄作

千葉支店処理施設での事故に関する弊社従業員の書類送検について

2013年11月15日、弊社千葉支店処理施設において、廃油を蒸留処理して再生重油を生産する工程で火災事故が発生し、弊社の従業員2名が亡くなりました。本事故に関連いたしまして、千葉支店従業員5名が、業務上過失致死傷の疑いで本日千葉地方検察庁に書類送検されましたので、ご報告申し上げます。

本事故によりお亡くなりになられた方々のご冥福を改めてお祈り申し上げ、ご遺族の皆様には心からのお詫びとお悔やみを申し上げます。また、地域の皆様、お取引先様、関係諸機関と諸団体の皆様に多大なるご迷惑をおかけしましたこと、重ねてお詫び申し上げます。

弊社は、本事故発生後に社外有識者もお招きして事故調査委員会を発足させ、関係諸機関からの指導を受けながら、事故原因の解明ならびに再発防止対策の検討を行いました。この結果、事故原因としては、多量のガソリンと軽油の混合物が本廃油蒸留施設に投入され、その加熱工程で揮発濃度が高まり、そのガスに何らかの原因により着火して事故の発生に至ったことが想定されております。弊社といたしましては、これらの調査結果を厳粛に受け止め、各種の再発防止対策の実施を推進しております。

具体的には、すべての支店での回収時の油種確認の徹底を強化するとともに、回収先となる廃油排出事業者の皆様へも「低引火点廃油」の分別の徹底を改めてお願いしております。また、全事業所を横断する「全社労働安全委員会」を常設機関として設置して、安全管理体制の抜本的改善と強化を図るとともに、各種手順書の改定や社員への安全教育の強化も進めております。

弊社は、千葉支店においてこのような事態を招いてしまったことを改めて深くお詫び申し上げますとともに、真摯な反省のもとで全社的な安全管理体制の強化を今後も継続して参ります。引き続き関係機関の捜査に対して全面的に協力して参りますとともに、行政及び司法により下される措置を厳粛に受け止め、本事故を決して風化させることなく将来にわたって伝承し、二度とこのような事態を惹き起こさないよう、全力を挙げて安全の確保と信頼の回復に努めて参ります。

以上